

金融機関と連携した再生支援

卸売業A社

(鹿児島県)

卸売業

1. 相談のきっかけ

- ・平成26年7月2日、よろず支援拠点の開所式のテレビを見て来所。
- ・銀行からの追加借入が出来ずに、資金繰りが厳しい状況にある。
- ・仕入先等への支払いが滞っている。債権未回収もある。
- ・追加の一時借入れなど対策を相談したい。

2. 課題整理・分析

- ・決算書やヒアリングを基に、債務を含めた経営状況を分析した。
- ・自力で再生できる状態であると判断し、政府系金融機関からの借入を視野に入れて、経営計画の策定を進めることにしたが、支援中にメインバンクから再生支援協議会への持ち込み案件となったことから、その方向で支援を進めることとした。

3. 解決策の提案

- ・今後の事業計画について精査が必要となり、メインバンクと連携して、資金繰りなどの精査や再生支援協議会へ提出する資料作成を行うこととした。
- ・収益性を上げないと今後の返済も厳しいため、売上向上のために、WEBを活用して在庫の見える化を進めていくこととした。



4. 成果

- ・経営課題を明確化するため、よろず支援拠点からの専門家派遣制度を活用して、専門家による外部評価を行った。
- ・小規模事業者であり、帳票作成などの時間が十分とれなかったものの、よろず支援拠点と専門家のサポートを集中的に行った結果、メインバンクとの連携もスムーズに出来た。また、再生支援協議会への資料づくりも手早くできた
- ・社長の経営上の課題を十分にヒヤリングして、メインバンクとの調整において、事業再生に向けた具体策として事業計画の精査を行った。
- ・今後は、収益性を上げるために、在庫の適正化とホームページでのPRを行う。現在より利益が上がるような単品管理を進めていく。

